
GlobalDoc5 1.00R08.01

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2007年 9月 10日

製品情報

=====
バージョン : Ver.1.00R08.01

=====
変更内容

新機能

■ Web アプリケーション

- ・ ごみ箱の検索機能を追加しました。
※システム管理者に限り操作可能な機能です。
- ・ 更新前文書の検索機能を追加しました。
※システム管理者に限り操作可能な機能です。

■ サーバーツール

- ・ 移行関連設定調査用ツールを追加しました。

機能拡張

■ Web アプリケーション

- ・ 添付 ActiveX で、添付ファイルの名称を変更できるようになりました。
- ・ フォルダー管理画面から、履歴のダウンロードができるようになりました。
- ・ 文書参照画面から履歴をダウンロードする際に、条件による絞込みができるようになりました。

- フォルダー管理画面から、フォルダー情報をエクスポートできるようになりました。
- グループ一覧、グループメンバー一覧で、所属するグループの上位グループが、トップグループから一覧表示できるようになりました。
- セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、詳細検索の検索項目キーワードがどのフォルダーのものか判別できるようになりました。
- 削除可能なフォルダーの保存合計サイズを設定できるようになりました。
- 削除可能なフォルダー配下のリソース数を設定できるようになりました。

■ サーバーツール

- 移行データ設定ツールで、GlobalFamily4.x から移行されないデータがログ出力できるようになりました。
- 移行データ設定ツールに、保存合計サイズを計算するオプション `-fr` を追加しました。

□ 仕様変更

■ Web アプリケーション

- フォルダーの更新時に、フォルダー使用サイズを再計算しないように変更しました。
※使用サイズの再計算は、フォルダーサイズ補正ツールで行えます。
- マルチリストの+マークをクリックした場合、表示データを再取得するように変更しました。
- システム履歴の取得区分の初期値を、「すべて」から「登録」「更新」「削除」「参照」に変更しました。
- 履歴出力で、本文の履歴は「本文」、添付の履歴は「添付」と区別して出力するように変更しました。
- ActiveX で表示されるエラーメッセージを見直し変更しました。

□不具合修正
=====

■Web アプリケーション

- Oracle Application Server を利用する場合、表示されない画面がある不具合を修正しました。
- 文書を URL から参照した場合、エラーが表示され添付ファイルが開けない場合がある不具合を修正しました。
- セキュリティマスター、キーワードマスターを利用する環境で、フォルダーに設定されているセキュリティマスターを削除すると、フォルダー一覧が正常に表示されない場合がある不具合を修正しました。
- セキュリティマスター、キーワードマスターを利用しない環境で、セキュリティの追加・削除を行うと、全文検索に関する設定項目が表示されなくなる不具合を修正しました。
- 簡易検索結果画面、詳細検索結果画面で文書の削除を行った場合、削除に失敗していても、「削除が完了しました」というメッセージが表示される不具合を修正しました。
- フォルダーのソートが正常に行われない不具合を修正しました。
- ログイン後のマルチリストで深い階層を選択していた場合、マルチリストが横スクロールしてしまう不具合を修正しました。
- ActiveX を利用する場合に、登録時にエラーが発生しても登録が継続してしまう不具合を修正しました。
- フォルダー移動を行った場合、移動先フォルダーのセキュリティを継承してしまう不具合を修正しました
- フォルダーをごみ箱から削除したとき、DB に不要なレコードが残る不具合を修正しました。
- 環境設定画面で「トップフォルダーで全文検索の利用を制御」しないに設定している場合、フォルダーのセキュリティを変更すると、全文検索対象の設定が外れてしまう不具合を修正しました。
- 更新前文書一覧で、削除者名・削除日時によるソートが正しく行われない不具合を修正しました。

- ・ 文書一覧から添付ファイルをクリックすると、正常にファイルをダウンロードできない場合がある不具合を修正しました。
- ・ 更新前文書を CSV 形式でエクスポートすると、添付ファイルの URL が出力されてしまう不具合を修正しました。
- ・ 詳細検索を OR 条件で行うと、SQL エラーが発生する場合がある不具合を修正しました。

=====